

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得し、活用している。				3.9		6	7						12	13.3	14	15		
	19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社のHPにて環境への取り組みの活動報告を公開している。														12.6				
	20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・会社の敷地内に、太陽光パネルの設置と利用をしている。									7.2					13				
	21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・自社で汚職・賄賂を禁止する旨を明記してあるマニュアルを作成・配布し、社員に周知している。																16	16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・自社で不正競争行為への関与を禁止する旨を明記してあるマニュアルを作成・配布し、社員に周知している。																	16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産に関する情報については一元管理を行い、外部への漏洩防止に努めている。								8.2	8.3	9								
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護に関する資料を全従業員に配賦し、理解を促進している。 ・社内の個人情報は、責任者が適切な場所に施錠し保管している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の使用や取り扱いはないことを確認している。																	16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・定期的に取引先との打ち合わせの場を設け、人権侵害、環境保全について認識を共有し、適切な対応ができるよう共に取り組んでいる。						5		8	10	12	13	14	15	16	17			
	28	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・土木事業において、発注者による定期的な監査や竣工検査が行われ、結果通知書にて評価が通達される。			3.9										12.4					
	29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・クレームがあった場合、経営トップと現場管理者に即座に通達され、それに対する対応と原因の追及をし、再発防止に取り組んでいる。 ・ISO9001を取得している。									9									
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・RC-40、再生アスファルト等の再生資材を工事に使用している。						6					12	13	14	15				
	31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																				
				1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 				
32 社会貢献・ 地域貢献・ 社会貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工事を実施する際、工事内容について近隣住民の方々から理解を得られるよう、挨拶回りと地元説明会を行っている。 ・HPにて工事の進捗状況を写真を交えて公開している。											4				9	11	12	14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・諫訪湖アダプトプログラム活動を参加し、ゴミ拾いや草刈りなど湖の美化に努めている。 ・毎年地元中学校の職場体験の受け入れをし、次世代を担う人材への育成機会を提供している。											4					11		14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・長野県産材料の資材利用に努めている。														8	9	11	12	13			
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、品質・環境・労働安全衛生統合の方針や目標を社内に掲示して共有している。													8	9						17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内会議にて、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。																				16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社内担当者を設置し、十分な配慮を行っている。																				16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・打ち合わせ簿を書面にて作成し、保管している。																				16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・工事現場ごとに、毎日リスクマネジメントを行っている。																				16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRについてまとめた資料を社内会議にて配布し、社員全員に周知した上で、責任を持った行動・対応に取り組んでいる。 ・新入社員には既存社員の顔写真入りの自己紹介用紙を配布し、氏名を覚えるのに役立てもらっている。																				16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・災害時の基礎的事業継続力認定(BCP)を取得している。 ・緊急時の訓練や対策を定期的に見直し、行っている。														9	11	13	13.1		16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・毎年、新入社員の募集・受け入れを行っている。【予定】今後の後継者候補への事業内容の継承・指導を行う。													8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)